

さくら・さくら

ニュースレター

深沢・桜新町 さくら フォーラム

〒158-0081 東京都世田谷区深沢8-19-6
フェリックス気付

No.14 2014年1月

深沢・桜新町さくらフォーラムは、地域の風景づくりの啓発活動に取り組む市民団体です。

2面 玉電廃止～新玉川線開通まで / 3面 住居表示実施ほか / 2面～4面 つどいでのご発言ほか

<http://sakura-forum.jimdo.com/>

ことしは、深沢・桜新町開発 101 周年です

ニュースレター12号、13号に引き続き、今号では、100年の真中の1/3(第2期)-
終戦(1945年)～新玉川線開通(1977年)までの間の激変した街の様子をご紹介します

●1961(昭36)年「弾丸道路」開通 (国道246号 駒沢～瀬田間)

戦前から計画されていた放射4号線の駒沢～瀬田間(開通当時、「弾丸道路」と呼ばれていました)は現在の位置に変更され、1953(昭28)年から測量開始の後、1961年に開通しました。

渋谷～駒沢間の拡幅完了は、1963(昭38)年です。



出典:写真アルバム 世田谷区の昭和、佐々木高史



「弾丸道路」により
分断された新町住宅地

上が瀬田方向
下が駒沢方向



●1971(昭46)年、首都高速道路3号線開通、 東名高速道路に接続

東名高速道路の世田谷起点は、1967(昭42)年に着工され、1968年に用賀～厚木間開通、1971年に首都高3号線と東名高速がつながりました。

11月24日に深沢・桜新町開発100周年記念のつどいを開催しました

60名を超える方に参加いただき、充実した記念のつどいとすることができました。

第1部 スライドで見る100年

第1期 1913年(分譲開始)～1945年(終戦)

第2期 1945年～1977年(新玉川線開通)

第3期 1977年～現在

について、スライドにより歴史を紹介しました。

第2部 トークイベント

2～4面にご発言・メッセージを紹介します。

スライド(増補版)上映会開催予定→4面に掲載





拡幅後の 246 号線上馬付近 1968 年 3 月)

出典:よみがえる玉電、
写真 荻原二郎

←
ジャマ電と呼ばれた玉電



出典:東急電車 新玉川線物語、山本泰史

●新玉川線の建設の経緯

- 1956 (昭 31) 免許申請
- 1959 (昭 34) 免許
- 1961 (昭 36) 工事施行認可
- 1962 (昭 37) 工事着手届
- 1968 (昭 43) 東京都市高速鉄道第 11 号線*設定
- 1969 (昭 44) 玉電廃止
- 1971 (昭 46) バス専用レーン導入 (渋谷～駒沢間)
- 1977 (昭 52) 新玉川線開通

新玉川線(当時の名称)は、ルート(免許線、工事施行認可線、開業線の 3 案)や駅の位置、駅の名称などを巡る紆余曲折を経て、免許申請以来 21 年後の 1977 年 4 月 7 日に開通しました。

* 現在の半蔵門線との乗り入れ決定



「さようなら玉電」
1969 年

5 月 8 日～10 日花電車運行



新玉川線開通

1977 年

桜新町商店街
を行く開通記念
の騎馬行列 →

特記以外の写真出典
: 私たちのまち桜新
町の歩み、菅沼元治



トークイベントでのご発言

山岡靖さん (当会アドバイザー、「東京の軽井沢 桜新町」著者): 明治末に開発された阪急沿線の池田室町は 100 周年を祝っていないと思う。きょうは貴重な機会だ。新町住宅地は、住宅だけではなく商店街の場所を用意し、販売事務所を設けて自動車の送迎サービスやご用聞きをしたりした。住みやすさのためのソフトを伴った街だった。町会(桜新町親和会)の前身が設立された 87 年前からコミュニティができていたのもすばらしい。

「田園都市」の運動をイギリスのハワードが掲げ、ロンドン郊外のレッチワースに街ができたのが新町住宅地のほぼ 10 年前。新町住宅地は、田園都市の考えを取り入れて郊外田園生活をうたった。開発当初は半分位が別荘的な利用だったと思う。「東京の軽井沢」と書かれたチラシもあった。

100 年が 30 年位毎に 1 期～3 期に分かれるとの話だったが、これは世代交代の年数とも合っている。世代交代する中で、何を引き継いでいくのか考えるのは大事なことだと思う。

久末康一郎さん (当会アドバイザー、世田谷区教育委員会): 郷土資料館で玉電の特別展を開催したとき、原典に当たろうと東京都公文書館で調べて多くの新事実がわかった。地主であり府会議員もいた地元の有力者達が上野の博覧会のアトラクションの「電車」に乗って「こ

れからは電車だ」と考えて玉電敷設を發議した。高台で利用価値のない原野だったこの土地を、玉電の敷設と電気が引けることを前提に住宅地として開発するという發想は、画期的だった。ただしサラリーマン層が確立する前だったので、すぐ売り切れたわけではなく、関東大震災後、被害の少なかった高台で電車の便のある新町住宅地にも関心が高まって入居が進んだ。ゆっくり發展したのはよかったと思う。

街としての原型がまだ残っているし、桜並木も維持されている。地元のつながりがあり熱心だ。大切に守っていただければ、大いに支援したい。

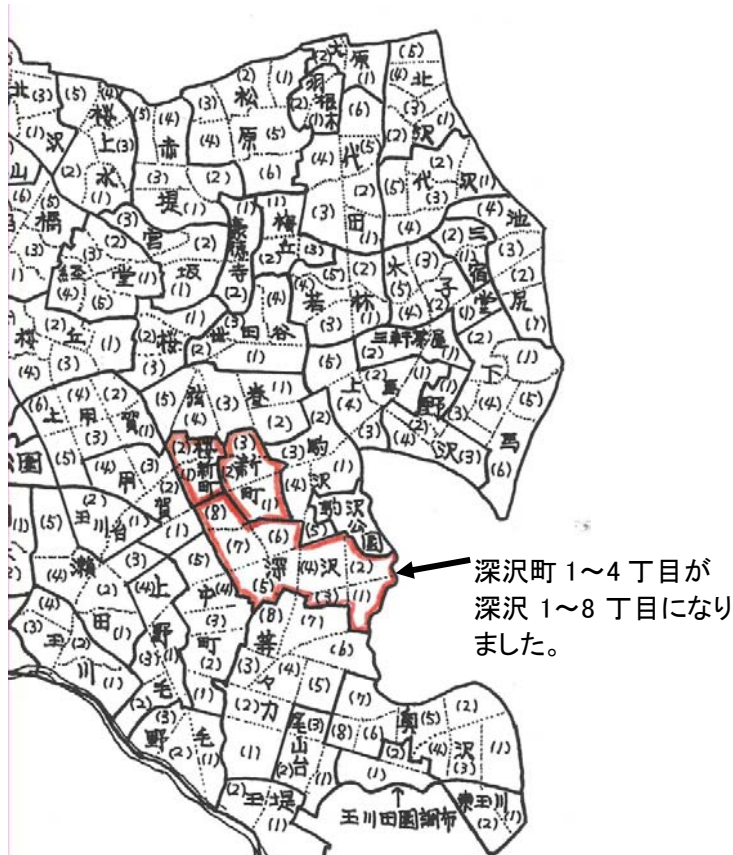
きむらけんさん (北沢川文化遺産保存の会): 新町住宅地は、分水嶺の東側の法面にある。多くの街を歩いているが、東の法面にある土地は、空気感がしっとりしている。西は、明るい。宮本百合子も同じようなことを書いていて「この土地に対して愛を感じる」とまで記している。荒木進さんも「繊細で一脈の抒情性が漂っていた。」と書いている。文学者や芸術家の痕跡をたどる地図を作っているのだから、桜新町についてもお手伝いしたい。

三羽和彦さん (桜新町親和会会長): これからの時代に文化をどう引き継いでいくかも町会の役割ではないかと思う。このまちを愛して、住みたいまち、住み替えしたいまち、戻って来たいまちということを主眼にして町会の活動に関わってほしいと思う。

●1968(昭43)年、住居表示実施

「桜新町」が町名になりました。

1932(昭7)年以来、桜新町親和会の対象だった深沢町4丁目は、深沢8丁目全域と深沢7丁目、新町1丁目、新町2丁目、桜新町1丁目の一部に分かれました。



出典:世田谷の地名(下)、世田谷区教育委員会

林進さん (玉川公園管理事務所長) : 街路樹、呑川親水公園、緑地などの管理に関わっている。日々思うことは、街路樹は、地域、特に沿道のみなさんの愛情があって初めて維持できるということだ。土地が分割されると新しく家の入口や車庫が必要になる。木があると使いにくいという相談を受けると、町会長の三羽さんと少し横にずらさせていただけないかとお話に行ったりする。「みどりは大切」というのは簡単だが、落葉を掃いたり毛虫の被害を受けたりすることを沿道の方に寛容に受け入れていただき大切にしていただいているのが何よりと思っている。

本郷幸子さん (当会会員、元世田谷聖母幼稚園園長) : 無原罪特別保護区は、春夏秋の公開日に年間合計200名位の方が来てくださる。大木の剪定はしていただけるので助かっている。湧水なので池に苔は生えないが、ヘドロがたまって底が見えない。ヘドロの掃除まで手が回らない。黒い鯉はたくさんいるが覗きこんで見るとのは幼稚園児には危ないので、見えやすい錦鯉を放した。下水道が完備されて桜町小学校の方から水が流れてくることなくなくなった。

笹原敬子さん (せたがや街並保存再生の会) : 清明亭の維持活動をしている。住んでいた長尾夫妻は事業の他に若者の支援にも尽力したときく。屋敷跡は深沢高校となり、教育施設になっていることを喜んでいると思う。長尾邸についてヒヤリングもしている。歴史的な建物を忘れずに街全体の魅力を高めていければよいと思う。

●保育園・幼稚園、小中高等学校 多数の開設

(戦後のベビーブームへの対応など)



●進駐軍による住宅の接收

終戦後、この地域でも進駐軍関係者が居住するために、住宅(水洗便所を備えた住宅が対象とのことです)が接收されました。何軒がいつからいつまで接收されたかはわかっていません。

浅海義春さん (世田谷トラストまちづくり・まちづくり課長) : 100周年おめでとうございます。子どもたちは、街の風情だったり人と人の関係だったり何気なく語り合っていることだったりという街の空気を感じながら育つと思う。ここでは最初の頃の分譲の際の条件が根底にあって引き継がれているのではないかと。時代の節目節目にこういうことが大切だということを確認して次の時代に移っていくことは意義がある。(区民集会所の)この場所が発祥の地なら、街の歴史を伝えたりこれからの街を考えるきっかけをつくるように活用できるとよい。街の宝を新しく入って来る人も含めて一緒に考えていけるとよいと思う。

浅見正博さん (当会会員、桜新町1丁目在住) : 「団塊の世代よ、一緒にまちのことを考えよう、ネットワークを築こう」と呼びかけたい。

仁木勇夫さん (深沢7丁目在住) : 住みよいきれいな街にするために、禁煙地区、タバコのポイ捨て禁止地区*とした。呑川親水公園に歴史や水循環の説明看板を立ててはどうか。欄干にかけられたゴミ用のネットが見苦しい。親水公園をそのように使うのは間違いではないか。

*世田谷区ポイ捨て等の防止に関する条例では、区内全域で自主的に吸殻等をポイ捨てしないで持ち帰るなどするよう求めています。(編集担当注記)

100周年に向けて寄せられたメッセージ

●ここが好き

◆桜新町はしんせつな人が多くて私は、この町が好きです。これからもずっとこの町らしくいてほしいです。(10歳)

◆ゆったりした桜町小学校や商店がいが私は大好きです。これからもこんな優しい町でいてほしいです。(小5)

◆ゆったりしておちつく桜新町が大好きです！何年たっても忘れたくないと思います。(11歳)

◆田園調布や成城のようにキャラが立つまちではない、しっとりとしたまちが好き。いつまでもこのままに。

◆桜新町に引っ越して来て5年目です。呑川緑道が好きです。毎年、かもが赤ちゃんを生んで育てていくのを楽しみにしながら、木もれびの下を自転車で通っています。緑道は桜並木が綺麗で、春をとっても楽しみにしています。はらはらと舞う空を見上げながら、ゆったりとした時間を過ごせる事は、とてもぜいたくな事です。

そして春だけでなく夏もあやめでしょうか？しょうぶでしょうか？栗の湯さんの近くに咲く黄色い花が美しいです。秋は紅葉した葉が鮮やかに落ちて一本の道になる風景が魅力的です。近くの公園には萩の花が多く、地面に垂れていて秋の風情があります。そんな風景をこれからも守って欲しいです。(20代)

◆桜新町に引っ越してきて10年。桜新町は太陽に近い気がします。サザエさん通りは電線もないので、空がよく見える“明るいまち”だと思います！“桜新町”とい

う名前もいいですね！呑川の桜並木は、花盛りの時もどんちゃん騒ぎするような風景ではなく、のんびり歩いて楽しめる上品な風景ですね。駅前通りには「東京でソメイヨシノが見おさめ」になった後に再び桜花を楽しめる八重桜が咲いていて、まちの名にふさわしいと思います。商店街もチェーン店が増えてきましたが、個性的な店もチラホラあり…店の数が多いわけではないので、あれが無い、これが無い、という不便は感じますが、それは、近隣の利便性のあるまちに買いに行けばいいかなという感じです。“サザエさんのまち”としても有名でもあり、「桜新町に住んでいる」というと「サザエさんの！」と言われます。政治家や芸能人やスポーツ選手も住んでいるとか。有名人が住みたいということは静かなまちということでしょうね。(良くも悪くも)静かなまちだと思います。住むには最高です。(40代)

◆ゆるやかな坂のあるところが好きです。

●こんなまちに

◆子どもたちの笑顔と笑い声があふれる町でありますように…。

◆子供の頃からこの町に育てられ、今、この町で子供を育てています。いつまでも住みやすい町に。

◆みどりを減らさないで！

◆これから考えた時、玉電と桜新町は、切っても切れない関係です。宮坂の元玉電の車両も大切に！記録と記憶を継承しましょう。

深沢・桜新町さくらフォーラムから

○「深沢・桜新町の100年」スライド上映会を開催します

1月22日(水)19時～ 桜新町区民集会所第1会議室
下記発行元までお申し込みください。

○活動カレンダー

11.20(水)	11月定例会開催
11.24(日)	100年記念の集い開催
12.7(土)	桜新町親和会ゴミゼロデー活動に参加(有志)
12.18(水)	12月定例会開催
1.15(水)	1月定例会開催予定
1.22(水)	スライド上映会開催予定
2.19(水)	2月定例会開催予定

○都政新報(12/17)に掲載されました →

・都政新報は、週2回発行の都、23区、市町村関係の情報を提供する新聞で、行政職員や議員をはじめ、自治体に関心のある人や企業が購読しています。



関東初の大規模分譲地
「新町」100年
これまでとこれから

○会員募集中

この地域の景観・環境・みどりなどについて、関心のおありの方は、ぜひご参加ください。お問い合わせ、ご参加申し込みは、下記発行元(稲垣まで)にお願いします。

○ホームページの魅力アップやSNSの活用などにご協力いただける方もぜひ、ご連絡ください

写真・資料等ご提供いただける方、お話をお聞かせいただける方もお知らせください。

○編集・執筆担当から お詫びして訂正いたします。(稲垣道子)

●ニュースレター13号2面の図3中の大□□□は大山街道、□田は水田の誤植でした。

発行元: 深沢・桜新町さくらフォーラム <http://sakura-forum.jimdo.com/>

〒158-0081 世田谷区深沢 8-19-6 フェリックス気付 電話 03(3702)3274 FAX 03(3702)3219